

1ねんせいみんなにつたえよう～ミニ難聴理解学習～

【対象児童】 小学校1年 難聴学級・交流学級

【時間設定】 読書タイム(15分程度)

【自立活動の項目】心(3)、人(3)

【設定の背景】

Aさんが、難聴学級担任に「〇〇ちゃんが耳を触ってくる。やめてっていてもやめてくれない」と呟いた。

→みんなに困ることを知ってもらいたい気持ちがあった。

【本時の目標】Aさんのきこえや補聴器のことを知ってもらう。

【本学習のポイント】

本児の気持ちを丁寧に受け止め、時間をおかずに交流学級担任と情報共有し、ミニ難聴理解学習を実施。友達との関係も改善し、トラブルなく過ごしている。



【ミニ難聴理解学習の流れ】

- ①クイズ「これから先生はなんて言うでしょう」
両耳を手で塞ぎ、聞こえにくさを体験してみる。
- ②聞こえの確認
耳から手を外してもう一度聞いてみる。
- ③Aさんの聞こえについて(説明)
 - ・最初に耳を塞いだ聞こえがAさんの聞こえに近いこと。
 - ・聞こえを助ける機器が「補聴器」であり、ロジャーを使うこともあること。機器を使っても聞き取りにくいことがあること。
- ④どうしたらいいのかな?(子どもたちから意見収集)
「大事な物だから補聴器に勝手に触らない」
「耳元で大声や大きな音を出さない」
- ⑤お願いしたいこと
 - ・補聴器は水や汗に弱いため、外すことがある。困っていないかちょっぴり気にしてあげてほしい。
 - ・補聴器をしていない時は正面から口元を見せてはっきり話すと伝わりやすい。

【対象児童の様子】全体指導では頷きながら話を聞いていた。隣席の友達に謝ってもらい、本人は納得して帰宅できた。